

2013年12月25日

## 「平成25年 東京都における労働組合の組織状況」に対する談話

連合 東京都連合会  
事務局長 杉浦賢次

1. 東京都産業労働局は12月18日、平成25年労働組合基礎調査結果から「平成25年 東京都における労働組合の組織状況」（2013年6月30日現在）を発表しました。東京における労働組合数は7,503組合で前年の7,602組合を99組合下回りました。一方組合員数は2,212,563人で前年を47,045人増の、推定組織率は24.1%で前年の23.8%をやや上回りました。
2. 全国的には、組合員数及び推定組織率ともに戦後最低となり連合本部の事務局長談話では『労働組合数、推定組織率とも漸減傾向に歯止めがかからず労働組合の埒外に置かれた労働者が増加していくことは、「雇用社会」といわれる我が国にあって、集团的労使関係を通じた適正な配分。ディーセントワークの実現をより困難なものとするものであり、きわめて残念な状況にあると言わざるを得ない。』と述べています。
3. 以上のような状況の中、連合東京は、組合数は26組合減少し2,887組合になりましたが、組合員数は前年を24,605名上回る1,061,773名となり東京都内の組合員数の50%を組織しています。東京都内の他団体が軒並み組合員数を減らす中、連合東京の組合員が増えたことは、構成組織をはじめとする関係者が総力を挙げた“チャレンジ120”の取り組みの成果であると確信しています。
4. しかし、目指すのは120万人連合東京であり、1,000万連合の実現です。目標到達まではまだまだ困難な道のりが待っていると思います。私たちは12月18日の第2回執行委員会で当面の組織拡大対策として「未組織関連会社・企業内未組織労働者の把握」を提起し、単組における企業内未組織労働者への組織拡大と関連会社などの組織化へのステップとして取り組むことを確認しました。また「組織拡大プロジェクト会議」を立ち上げ、構成組織との連携強化を行うことも確認しました。  
連合東京の総力を挙げて組織拡大に取り組んでいくことをここに改めて確認し談話とします。